



今月のご縁日

9月

の行事予定

9/20  
(日) 11:00~



いちよう

2026年9月号

令和8年8月20日発行/No.405

発行所：待乳山 本龍院

〒111-0032 東京都台東区浅草7-4-1

☎ 03-3874-2030

## 令和 8 年熊本地震へのお見舞い

2026 年 7 月 28 日に熊本県で発生した熊本地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。  
当山では皆様の安全と心身の平穩、被災地の一日も早い復旧を、ご本尊の聖天様にご祈念申し上げます。  
また、復興支援の一環といたしまして、寺務所に募金箱を設置いたしました。  
皆様の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 「目に見えるご利益、目に見えないご利益」 住職 平田真純

「嘘も方便」ということわざがあります。

相手や状況のことを考え、自身の善意から、あえて本当でないことを言って、物事の円満な進展を促すというたとえで使われます。

さらにその方便のうわべの言葉だけでなく、隠れた真実が相手に伝わり、感謝の心が生ずれば、より深い人間関係、信頼関係が築けることでしょう。

とはいえ、私たちは、所詮不完全な人間であり、この「嘘も方便」という言葉も、何かと言い訳に使ってしまうことの方が多いのではないのでしょうか。

そもそも「方便」という言葉の由来は仏教用語からであって、仏様が私たちを導くための手段を言います。仏様の方便には嘘はありません。すべて慈悲に基づく巧みな手段です。

仏様は、その人に合った、さまざまな方便をお使いになりますが、聖天様のご利益も、とても有難い方便といえるでしょう。

皆様が聖天様に一生懸命祈願して授かるご利益には、「目に見えるご利益」と「目に見えないご利益」があります。

「目に見えるご利益」とは、すなわち文字通り聖天様が、実際に祈願の成就を示しながら正道に導く「方便」です。「目に見えないご利益」とは、私たちの曇った目ではなかなか見ることのできづらい「真実」です。

当山にてお勤めのとき読誦する經典は、主に「般若心經」と「觀音經」ですが、聖天様の信仰に即して、「ご利益」という観点からこの二經典を掘り下げてみると、

「目に見えるご利益」を説くのが觀音經

「目に見えないご利益」を説くのが般若心經

ともいえるかもしれません。

「觀音經」の偈文（後半の詩形式の文）では「念彼觀音力」という語が繰り返されるところが印象的ですが、ここでは、彼の觀音様のお力を念ずれば、さまざまな災厄から逃れることができるという「目に見えるご利益」が説かれています。

対して「般若心經」には、「觀音經」のような具体的な言葉は示されておらず、「色即是空」など、真理を表す言葉がちりばめられています。真理は形にできない、形のあるご利益で表せない、理解には時間を要する、すなわち「目に見えないご利益」が説かれているのではないかと思います。

たとえ状況によっては「目に見えるご利益」を感じられない場合でも、「目に見えないご利益」は必ず授かっています。「目に見えないご利益」で、気づかないうちに、自然と良い方向に導かれていることが、聖天様信仰のありがたさでもあります。倦まず弛まずお参りをを続けたいものです。

### 朝まいり会

9月1日～7日 午前8時～8時半 会費：500円也

皆様と一緒に「大聖歡喜天礼拝作法」を読誦いたします。毎日参加されなくても1週間のうちで、ご都合のよろしい日にご参加ください。朝まいり会終了後には齋食と大般若法要がございます。

### 写經の会

9月13日(日) 午前10時、午後1時 会費：500円也

お経を一文字一文字丁寧に写すことにより仏様の功德をいただけます。

### 日曜勤行

9月13日(日) 午前9時 参加費：無料

初心の方も気軽に参加いただけるお勤めの会です。

### 合同大般若法要

9月25日(金) 午前11時 法要料：5,000円也

皆様とご一緒にお上げする御礼の法要です。

### 坐禪の会

9月26日(土) 午前9時半～10時半 参加費：500円也

初心者の方でもわかりやすいよう、僧侶より説明を受けながら座禪の修行を体験できます。  
足の悪い方は椅子でのご参加もできます。

ライブ配信のご案内 | 御縁日法要・合同大般若法要のライブ配信を行っております。



皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。  
ご意見やご質問は ityou@matsuchiyama.jp までメールをお送りください。





## 「出世観音供養会・常香講」

7月17日(金)出世観音供養会  
7月20日(月)常香講を執行いたしました。  
出世観音供養会終了後、信徒会館大広間にて住職による法話がありました。



## 「懺悔文」 水谷 洸祐

用語

コラム

日々のお勤めで「懺悔文」というお経を唱えることがよくあります。内容はこのような言葉です。  
「我昔より造れる所の諸々の悪業は、皆無始の貪・瞋・癡に由る。身・口・意より生ずる所なり。一切を我今皆

懺悔したてまつる」  
簡単に説明すると「私が昔から作ってきたさまざまな悪い行いは、遠い過去から積み上げてきた、根源的な悪業（むさぼり、怒り、無知）に原因があり、私の行動、発言、心のはたらきから生じたものです。私はそれら全てを今ここで悔い改めます。」という意味になります。

「無始」というのは、自分が生まれる以前の輪廻転生を繰り返す長い過去からの因縁を含んでいます。「貪瞋痴」とは、人間が根源的に持つ 3 つの悪業のことで、「三毒」と呼ばれます。そしてこの三毒は、身口意（身体的な活動・言語表現・心のはたらき）の「三業」を通じて発露します。

「懺悔」と聞くと、なんだか重苦しく感じられるかもしれません。ですが仏教における懺悔文は、人間は誰しもが「貪瞋痴」という根源的な悪性をもっていて、それらは「身口意」を通じて表側に出してしまうものだという真理を説いているのにすぎません。悪性がどのように生まれてどのように形になるのか、その真理への気づきのきっかけを与えられているのです。単に過去を悔やむだけのものではなく、過ちに気づき、それを認め、また一からやり直そうとする、とても前向きな心の姿勢なのです。

私たちも毎日を過ごす中で、懺悔文の心にならって少しだけ心を整えてみてはいかがでしょうか。

## 「株式会社新進大般若法要」

7月29日(水)、本年も「しんしんの福神漬け」で有名な株式会社新進様の事業繁栄を祈願する大般若法要を厳修いたしました。

法要終了後には、参道にてご参拝の皆様へ福神漬けが無料配布され、多くの方々にお越しいただき、大変な賑わいとなりました。

ご用意いただいた福神漬けは大変ご好評をいただき、早々に配布終了となるほどの盛況ぶりでした。



## お宮参り

御宝前にて行者様より無病息災のお加持を授かりました。尊天様のご加護を受け、健やかに成長されることをお祈りしております。



7/19(日)荒牧光葵ちゃん



## 境内整備のご報告

中庭の塀改修工事に伴い、長年使用してまいりました井戸を移設することとなり、旧井戸の閉眼供養ならびに新井戸の開眼供養を執り行いました。これまでお寺を支えてくれた井戸に感謝の意を表し、役目を終える井戸の安寧を願うとともに、新たに設けられた井戸が末永くお寺を見守ってくださるよう祈念いたしました。これからも境内環境の整備に努めてまいります。

## 御奉納

三崎登子様よりご志納を賜り、本堂内陣の台灯籠を修復いたしました。温かいご厚志を賜り、誠にありがとうございました。末永く大切に使用させていただきます。



## 世話人往来

7月20日より、平田美穂様が新世話人として就任されました。これからお寺の行事や運営においてお力添えをいただき、お寺を支えていただくこととなります。今後のご活躍とご尽力に心より感謝申し上げます。

## ご祈祷のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈祷を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈祷期間をお伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

## 祈祷料

別座祈祷 壱万二千元(一週間)  
浴油祈祷 四千元(一週間)  
華水供 六百元(一日)

## 法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

**百味供養 法要料 八万円**

祥

沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

**大般若法要 法要料 五万円**

所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

**自動車加持 法要料 壱万円**

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

